

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 植物の器官新生過程における細胞運命決定と自己組織化機構の解明
2. 研究代表者： 池内 桃子（奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 特任准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、多能性を有するカルスから永続的な幹細胞を含む茎頂分裂組織（SAM）が生み出される器官新生のプロセスやその制御メカニズムについて、多細胞動態および遺伝子発現ダイナミクスを通して多角的に解明することを目指す。フェーズ1では、WUS 発現細胞の連続観察により、細胞分裂とシグナル伝播の両システムにより WUS 発現細胞が増殖することを見出すなど、全般にわたって当初の計画を着実に進め、フェーズ2につながる研究基盤が構築されたと評価される。フェーズ2では、異なる再生過程を示す新しい植物モデルを用いた比較解析などフェーズ1で得られた成果を発展させる研究計画が適切に立てられている。細胞間コミュニケーションのメカニズム解明に向けた興味深い成果が得られることを期待する。

以上